

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成31年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	労働等により昼間保護者のいない家庭の児童	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施 設 設 置 目 的	
就労等により昼間保護者のいない家庭の児童の健全な育成を図ること。	
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等	
基本方針	<p>【基本理念】 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図ること 遊びの活動への意欲と態度の形成を図ること 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図ること 保護者の子育ての支援を図ること</p>
運営組織	<p>【職員配置】 <嘱託支援員> 各クラブ2名 <臨時支援員> 代替支援員・フリー代替支援員・加配支援員・土曜日登録支援員・土曜日短時間登録支援員・日々代替支援員・短時間登録支援員</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 質の高い人材を育成するための計画的な研修の実施 広く人材を確保するための職員の公募、厳正な選考及び採用前研修 実習生や職場体験の積極的な受け入れ</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 子どもの発達の特徴をふまえた、個々の実際に即した援助 小学校・ふれあいスクール・民生児童委員・地域コミュニティ協議会等、様々な地域の関係機関と密接に連携をとり、地域全体で課題を解決 子どもと保護者の立場に立った、障がい児の入会希望の受け入れ 小学校・地域の専門機関等との連携や研修会による障がい児の支援の向上</p> <p>【利用促進への考え方及び内容】 学校や地域に向けた、積極的な情報発信、業務内容の公開 地域行事への積極的な参加</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 要望や苦情は積極的に聞き、取り入れるべき内容は事業に反映する。 <苦情解決の方法> 面接、電話、書面などによる苦情の受け付け 苦情の報告書へのまとめ、担当者と責任者による内容確認 必要に応じ第三者委員会による内容確認 解決に向けた話し合い</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	A	目標を達成した
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れ	B	対象児童に合った支援を行った
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて対応	A	臨時休校時に全て対応した
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	すべてのクラブで保護者が参加可能な行事を年1回以上実施	B	クラブ、児童、保護者が関わる機会を作っている
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	A	目標を達成した
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の励行	A	縮減に努めた
業 務	情報の共有	支援員のミーティングの励行	すべてのクラブで毎日実施	A	毎日、実施し情報共有を図っている
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	すべてのクラブで年2回以上実施	A	目標を達成した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	事務研修年2回実施	A	目標以上に実施し適切な情報管理を行っている
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検を実施	A	定期点検により、常に安全に使用できるよう保持している
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	適切に実施した
人 材	配置人員条件の充足	支援員の配置 2人以上	すべてのクラブで2人以上配置	B	適正に配置されている
	支援員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	年2回開催その他グループ別、職種別等の研修会を開催	A	専門性を深める研修を実施している
	支援員の健康管理	定期健康診断の実施 各年1回以上	定期健康診断年1回	A	目標を達成し、衛生管理にも配慮されている

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

高学年を含む児童数の急激な増加による施設の狭隘化に対応するため、施設分割整備対応等を確実に行いました。
また、保護者アンケート2年目の今年度は、アンケート項目に不満理由の記述欄を新たに設け、保護者がひまわりクラブに望むこと等を運営委員会において協議を行い、全クラブが保護者に寄り添った[安心・安全なひまわりクラブ]の運営改善に取り組みました。
さらに、平成27年度から国が定めた放課後児童支援員認定資格研修(5年間の経過措置)を計画的に受講し、支援員に必要な知識と技能の習得を図りました。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

指定管理者として運営する73クラブにおいて、児童数増加に対する受け入れ態勢を万全に整えるとともに、本市のすべての放課後児童クラブがこの条例の基準を満たし、設備及び運営を向上させていくための体制を整えるため、他の放課後児童健全育成事業者に対し、研修や情報交換会を行う事業を実施する等、市全体の放課後児童クラブの質の向上を図るための重要な役割を担った。また、放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講など支援員のスキルアップも図っている。指定管理者として優良と評価する。

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	山の下ひまわりクラブ		
管理者名	山の下地区コミュニティ協議会	指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成32年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	新潟市東区山の下町8番55号（山の下小学校内）		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない児童。原則として小学校6年生まで。	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施 設 設 置 目 的	
就労等により昼間保護者のいない家庭の児童の健全な育成を図ること。	
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等	
基本方針	<p>【基本理念】 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図ること 遊びの活動への意欲と態度の形成を図ること 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図ること 保護者の子育ての支援を図ること</p>
運営組織	<p>【職員配置】 ＜正規支援員＞ 嘱託職員 2名 ＜臨時支援員＞ 加配支援員、フリー支援員、土曜登録支援員、日々代替支援員、土曜短時間登録支援員、短時間登録支援員</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 質の高い人材を育成するための計画的な研修の実施 広く人材を確保するための職員の公募、厳正な選考及び採用前研修 実習生や職場体験の積極的な受け入れ</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 子どもの発達の特徴をふまえた、個々の実際に即した援助 小学校・ふれあいスクール・民生児童委員・地域コミュニティ協議会等、様々な地域の関係機関と密接に連携をとり、地域全体で課題を解決 子どもと保護者の立場に立った、障がい児の入会希望の受け入れ 小学校・地域の専門機関等との連携や研修会による障がい児の支援の向上</p> <p>【利用促進への考え方及び内容】 学校や地域に向けた、積極的な情報発信、業務内容の公開 地域行事への積極的な参加</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 要望や苦情は積極的に聞き、取り入れるべき内容は事業に反映する。 ＜苦情解決の方法＞ 面接、電話、書面などによる苦情の受け付け 苦情の報告書へのまとめ、担当者と責任者による内容確認 必要に応じ第三者委員会による内容確認 解決に向けた話し合い</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	A	すべて受け入れができた
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	一人一人に合った対応を行った	A	個別に添う対応ができた
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応	A	すべて対応
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 年1回以上 地域への業務内容公開	年1回実施	B	保護者参加できる行事がなかった
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	A	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力励行	B	実施した
業 務	情報の共有	支援員のミーティングの励行	毎日実施	A	短時間・登録支援員まで情報を共有した
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年1回実施	B	小学校内の訓練に参加した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	年1回実施	B	保管方法の遵守に努めた
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検実施	A	定期点検・施設設備を実施した
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	実施した
人 材	配置人員条件の充足	支援員の配置 2人以上	二人以上配置	A	学校コーディネーターに協力を仰いだ
	支援員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	年2回参加 木戸・山の下合同研修 職種別研修参加	A	実施した
	支援員の健康管理	定期健康診断及び保菌検査の実施 各年1回以上	定期健康診断年1回	A	菓子提供は個包装の為、保菌検査を廃止した

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成26年度より新潟市から指定管理を受け運営している。山の下ひまわりクラブでは「よく遊び よく学ぶ山の下ひまわりクラブの子どもたち」としてクラブでのめあてを決めて運営しています。地域の公園、学校グラウンド、体育館等で遊び、発散することで教室では大変穏やかにしている。学年に添った支援をし、クラス分けすることで、児童が大変落ち着いて過ごしている。家庭環境が多様化する中、保護者の要望に添える対応をした。児童の安全を厳守し計画的な運営を行い、保護者に安心して預けられる施設にしていきます。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成26年度から「地域の子どもを地域で見守る」地域主体運営モデルとして運営を開始。運営開始当初から、地域と学校と保護者との連携がよく図られている。
昨年度に比べ、障がい児の受け入れも個別に添う対応ができていること、支援員配置において地域教育コーディネーターの協力を得られていることから、自己評価も上がっており、今後の活動のさらなる拡充が期待される。
目標としていた地域力・市民力を発揮した地域で子育てを支援する環境が育まれてきており、指定管理者として優良と評価する。

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	下山ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人下山福祉会	指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成32年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	新潟市東区太平2丁目18番地8		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施 設 設 置 目 的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等	
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○理念 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童が下校後、安心できる環境で楽しく過ごす。 ○方針 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全育成に努める。
運営組織	<ul style="list-style-type: none"> ○職員配置 <ul style="list-style-type: none"> ・管理者・放課後児童支援員・補助員・事務員（保育士、教諭、支援員、早期発達支援士の資格を有する職員を配置し、専門的に児童の援助にあたる。） ○人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容 <ul style="list-style-type: none"> ・職務に責任をもって、資質向上を目指し、研修に参加し努力する。
運営についての提案	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達段階に応じた健全育成 <ul style="list-style-type: none"> ・学校、保護者との連携の下、その児童に合わせた援助する。 ○保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談の機会を設けたり、便り等で連携をとる。 ○学校との連携に対する考え方及び取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・学校での様子、出来事を伝えてもらい、不安な気持ちを引きづらないように児童の気持ちに寄り添い納得いくよう援助する。 ○地域との連携に対する考え方及び取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・下校後の気持ちが開放的になるので、帰宅時の安全指導について住民との連携を大切にする。 ○配慮を要する児童に対する対応方針 <ul style="list-style-type: none"> ・児童が安心してのびのびできる環境をつくり、専門知識を持って援助する。 ○要望・苦情に対する対応及び方法 <ul style="list-style-type: none"> ・要望、苦情、相談に対して、真摯に受け止めて対応していく。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	A	受け入れ態勢整え達成した
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れ	A	早期発達支援士の有資格職員を3名配置しているので対応できた
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	対応	B	開設したが利用児童がいなかった
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	保護者会3回・地域への業務内容公開1回	B	機会を作っている
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	B	目標達成に努めた
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力励行	B	縮減に努めた
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日実施	A	毎日、実施し情報共有を図っている
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年3回実施	A	目標を達成した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	年2回実施	A	適切な保護管理をしている
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検	A	定期点検により、常に安全を保持している
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	実施	B	適切に実施した
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	2人以上実施	A	適切に配置している
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	年3回実施	A	専門性を深める研修に参加し職員間で共有努力している
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	年1回実施	A	衛生管理に配慮している

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成28年度より、下山ひまわりクラブの指定管理者として業務に携わりました。保護者、子どもたちはもちろんのこと、地域の方からも安心できるクラブづくりに努めました。長年の下山ひまわりクラブの駐車場問題についても、小学校との連携の下、小学校の駐車場使用が可能になり、近隣の方からの理解もいただけました。また、地域のコミュニティー協議会で下山ひまわりクラブの取り組みについて説明させていただき、今後も地域の子どもたちを地域ぐるみで育てる取り組みにつなげることができました。平成29年度から、毎月、コミュニティー協議会の方と、子どもたちとの交流が実現できます。支援員の資質向上にあたっては、積極的に支援員認定研修を受講しています。その他、施設内研修、個別ミーティングを行い、子どもたち、保護者とのかかわりについての専門知識の向上に努めました。

所管課による総合評価(所見)

平成28年度から公募により選定され、下山ひまわりクラブの運営を開始。保育園運営のノウハウを生かし、子どもたちへの接し方はもちろん、地域や学校、保護者との連携においても丁寧な対応を行っている。駐車場問題の解決についても、保護者や学校、近隣住民と何度も調整を行った成果である。地域への発信も積極的に行い、地域で子育てを支援する環境が育まれてきたほか、放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講や施設内研修など、支援員のスキルアップも図っている。指定管理者として優良と評価する。

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	木戸ひまわりクラブ		
管理者名	特定非営利活動法人新潟市木戸地域コミュニティ協議会木戸ひまわりクラブ運営委員会	指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成32年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	新潟市東区中山4丁目2番6号		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施 設 設 置 目 的	
就労のため昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等	
基本方針	<p>〔基本理念〕 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通して子ども達の健全育成を図る。</p> <p>〔基本方針〕 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図る。遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図る。保護者の子育ての支援を図る。</p>
運営組織	<p>〔職員配置〕 〈支援員〉委嘱職員 各クラブ2名 〈補助員〉 第1・2名 第2・3名 日々代替補助員数名</p> <p>〔人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容〕 知識と理解及び情熱を有する質の高い人材を育成するための積極的な研修への参加、実習生や職場体験の積極的な受け入れ。 広く人材を確保するための職員の公募、厳正な選考。</p>
運営についての提案	<p>〔子どもの発達段階に応じた健全育成〕 子どもの発達の特徴をふまえた、個々の実際に即した援助を行う。小学校・木戸地域コミュニティ協議会・民生児童委員・学校支援ボランティア・PTA等と密接に連携をとり、地域全体で問題を解決する。放課後こどもふれあいスクールと一体化した活動を行う。</p> <p>〔保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容〕 保護者からの告知、支援員からの報告の徹底等、コミュニケーションに努める。</p> <p>〔学校との連携に対する考え方及び取組内容〕 地域教育コーディネーターを介して、学校と綿密な関係を築く。</p> <p>〔地域との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容〕 地域行事等への積極的な参加により、コミュニケーションの構築を図る。</p> <p>〔配慮を要する児童に対する対応方針〕 子どもと保護者の立場に立った、障害児の入会希望の受け入れを行う。 小学校・地域の専門機関等との連携や、研修会受講による障害児の支援の向上を図る。</p> <p>〔要望・苦情に対する対応及び方法〕 要望や苦情は積極的に聞き、取り入れるべき内容は事業に反映する。 面談、電話、書面などによる苦情の受付を行う。苦情を報告書にまとめ、担当者と責任者による内容確認を行い、解決に向けて話し合いをする。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	B	
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	それぞれの児童に合う対応を行った	B	
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応	B	
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	地域との共同事業年1回以上	A	地域との関係が密接である
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力に勤めた	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日実施	B	毎日行い、事務局とは月1回行っている
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年6回実施	A	クラブでの訓練の他、学校、地域の訓練にも参加している
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	ミーティングで確認	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検を行った	A	毎月点検を行い、問題箇所の改善に努めている
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書の通り実施した	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	各クラブ2人以上配置	B	
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	年2回参加	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健診年1回実施	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

新潟市木戸地域コミュニティ協議会が平成26年度より指定管理者としてひまわりクラブの運営を行っている。地域や学校との繋がりが深く、ふれあいスクールとは一体化して活動を行っている。ひまわりクラブの子どもたちのほとんどがふれあいスクールに参加しており、支援員も、受付や見守りをしてスタッフとして参加をしている。東区社会福祉協議会より助成を受け、ふれあいスクールと共催で「新年もちつき大会」を行った。地域ぐるみの行事となっている。(継続) 支援学級の子どもたちは学校内のひまわりクラブに在籍し、支援学級と連絡を密にしている。地域教育コーディネーターが管理に係わっていることで、学校との連携が深くなっている。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成26年度から「地域の子どもを地域で見守る」地域主体運営モデルとして運営を開始。運営開始当初から、地域と学校と保護者との連携がよく図られている。
遊びスペース不足の課題についても自治会の方々の協力を得て隣接の「中山公園」を利用することができており、適切に対応している。
目標としていた地域力・市民力を発揮した地域で子育てを支援する環境が育まれてきており、指定管理者として優良と評価する。

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	両川・東曾野木・横越・西内野ひまわりクラブ		
管理者名	新潟県ビル管理協同組合	指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成31年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>【基本理念】 常に児童の健康と安全確保に配慮し、放課後の時間帯における家庭的機能の補完により、「生活の場」及び「遊び」を通して、児童の健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 児童の平等利用を確保し、児童の健康管理、安全管理、情緒の安定を図り、クラブ活動を通じて、遊びの活動と学習への意欲形成、自主性、社会性、創造性の向上及び保護者の子育て支援を図ること 児童・保護者・地域のニーズに即した管理運営及び職員の資質向上に努め、モチベーションの高いクラブ運営を実現すること</p>
運営組織	<p>【職員配置】 〈正規支援員〉各クラブ2名 〈補助員〉補助加配支援員、日々代替支援員、土曜日支援員、長期休業支援員</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 質の高い人材を育成するための計画的な研修の実施 計画的・継続的な職員公募や職場体験等の実習生の積極的な受け入れより、職域全体において広く人材を確保し、採用・配置にあたっては、厳正な選考とOJT教育を含む採用前研修を実施</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 児童の人権と人格を最大限尊重して常に傾聴の姿勢を基本とし、子どもの年齢層による発達過程と個々の養育環境を十分に理解し、個別的かつ適正な育成を図る。</p> <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容】 入会時の「児童調査票」への記入とヒアリング及びクラブの設置目的への協力を要請して子どもたちの放課後生活を継続的かつ安定的に保障し、親の働く権利と家族の生活を守る。</p> <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】 日常的に子どもの安全確保と健康に関する情報交換と共有し、学校施設の利用等に関して積極的な連携を図る。 学校とひまわりクラブの連動性に考慮し、積極的にふれあいスクールと連携を図る。</p> <p>【地域との連携に対する考え方及び取組内容】 ひまわりクラブの存在とその目的を的確な広報活動を用いて周知し、クラブ解放Dayの試みやクラブ行事への招待活動、地域行事への参加を検討する。 突発的な病気やケガ、事故等に備え日頃から地域の医療機関等との連携を図る。 おやつ購入などは、可能な限り地域からの調達を心掛ける。</p> <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】 障がいのある子どもの受入にあたっては、子どもと保護者の立場に立ち、障がいの程度、発達状況等、個々の状況を的確に捉えた育成とより良い支援や問題の解決方法を検討する。</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を配置し、要望・苦情等の受付体制の明確化と積極化を図り、経過等については対応事例として検証と評価を行い、その後の事業運営に反映させる。 利用者アンケートにより日頃から積極的な利用者ニーズの吸い上げと把握に努める。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	B	目標を達成した
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れ	B	対象児童に適した支援を実施した
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて対応	B	臨時休校時に全て適切に対応した
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	全クラブで年1回以上の保護者会の他、地域行事等への参加を実施	B	クラブ、児童、保護者が関わる機会を作っている
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	全クラブで内部監査を年1回実施	A	目標を達成した
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の励行	B	経費縮減に努めた
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	全クラブで始業前ミーティングを毎日実施	A	毎日、実施し情報共有を図っている
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	全クラブで年2回実施	A	目標を達成した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	全クラブで年1回実施	A	目標を達成した
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	全クラブで毎月点検を実施	A	定期点検により、常に安全に使用できるよう保持している
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	適切に実施した
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	全クラブで2人以上配置	B	適正に配置されている
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	年2回開催、その他外部研修への参加を励行	B	職員の要望に反映させた専門性の高い研修を実施した
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健康診断を年1回実施	A	目標を達成し、衛生管理にも配慮されている

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成28年度より指定管理者として4クラブ6施設のみまわりクラブ運営にあたっている。各クラブとも運営に精通した職員が多数残留してくれたため比較的スムーズに4月を迎えることができた。当初は備品の不足等、施設環境に不備が見られたため、管理者として迅速かつ適切に対応しました。また一部クラブでは、児童数の増加に伴う第1・第2の区割りの見直し、職員の働き方の見直しなど安心・安全への配慮と適正な人材確保にも努めてまいりました。保護者からの要望にあたっては、クラブと管理者が連携を図り、常に迅速に対応するとともに利用者アンケートの実施により運営に反映させることができました。さらに職員の要望を反映させた研修会の開催により職員の資質向上に努めました。指定管理者として、利用者満足向上させるためには、まず従業員満足向上させるべきであるとの認識から、迅速な対応・現場との距離感・職員とのコミュニケーションを意識して心掛けた1年でありました。
なお、事業計画に掲げておりました防犯グッズ“さすまた”のクラブへの配置については、不要の判断により取りやめました。

所管課による総合評価(所見)

平成28年度から公募により選定され、4クラブ6施設のみまわりクラブの運営を開始。運営当初、備品の不足や施設の不備などの問題にも迅速かつ適切に行うとともに、工夫をしながら経費削減を図る姿勢が見られた。また、保護者の要望や支援員からの意見についても、事務局職員が現場まで足を運びコミュニケーションをとりながら丁寧に対応し、市担当者との打合せも何度も行いながら、利用者満足向上につながる従業員満足向上を図っていた。指定管理者として優良と評価する。

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	白根ひまわりクラブ		
管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成31年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	新潟市南区白根1372番地		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施 設 設 置 目 的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等	
基本方針	<p>子どもと親、地域と支援員とが主体的に運営に参加し、まちぐるみで支え合う子育て支援の拠点となるひまわりクラブのを目指します。</p> <p>①子どもたちの成長への貢献…子どもたちの生きる力の基礎となる主体性や社会性、創造性を高めていく保育を大切にします。</p> <p>②親の子育て支援への貢献…働く親のニーズに応じて、仕事と子育ての両立を支援します。</p> <p>③地域のまちづくりへの貢献…子育て支援に関心のある地域の方との出会いを広げ、子育てしやすい街づくりを地域の皆さんと一緒に進めます。</p>
運営組織	<p>【職員配置】</p> <p>常勤職員 各施設2名 非常勤職員 各施設2名以上を配置</p> <p>【職員研修、採用基準】</p> <p>子どもや保護者と向き合う姿勢、時代のニーズを受け止められる視野の広い人材確保に努めます。計画的に研修を行い、職員の資質向上に努めます。</p>
運営についての提案	<p>【健全育成に対する考え方】</p> <p>①一人ひとりの子どもを理解し、「安心」の土台を築く</p> <p>②子どもにわかいやすいメリハリのある生活</p> <p>③管理ではなく、話し合いとルールづくりを大切に</p> <p>④思っていることが言え、受け止めあえる関係づくりを</p> <p>⑤一人ひとりの子供の育ちと発達をよく捉えた援助を</p> <p>【保護者・地域との連携】</p> <p>日常の情報交換を大切にし、積極的に情報発信を行います。</p> <p>【要望・苦情に対する対応】</p> <p>意見や要望が率直に出される信頼関係の構築を行います。</p> <p>要望苦情の受付や仕組みを利用者にわかりやすく周知し、意見は真摯に受け止めます。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	B	目標を達成した
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れ	B	対象児童に合った支援を実施した
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて対応	B	学級閉鎖時に全て対応した
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	保護者会の実施 地域と連携した行事を実施	B	クラブ、児童、保護者、地域の方が関わる機会を作っている
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	月1回実施	A	法人会計を使用し、月1回会計状況を確認している
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の励行	B	縮減に動めた。
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日実施、月1回全職員会議の実施	A	毎日実施し、情報共有を図っている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年2回実施	A	併設する施設と合同の訓練、独自の訓練を実施した。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	年1回リスクマネジメント研修実施	B	目標を達成した
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検を実施	A	定期点検し、安全に使用できるように保持している。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書の通り実施	B	適切に実施した
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	2人以上の配置	B	適正に配置されている
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	全体研修会への参加	B	積極的に研修に参加した
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健康診断年1回	B	目標を達成した

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

白根ひまわりクラブの児童の健全育成を図るため、支援員・利用児童・保護者・学校等の連携を図りながら運営に取り組んできた。併設する児童センターや健康福祉センターの受託も行っていることから連携を強化し、合同の避難訓練や行事への参加、また危機管理体制の強化を図ることができた。また、運営初年度ということもありクラブと事務局の連携を重視し、週1回程度の巡回を実施し、一体的な運営を図った。

利用者アンケートを実施し、結果を公表するとともに改善事項については職員間で話し合い改善に向けて取り組んでいる。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成28年度から公募により選定され、白根ひまわりクラブの運営を開始。児童センターや健康福祉センター運営のノウハウを生かし、関係機関との連携しながら、危機管理体制の強化を図るなど安心・安全なひまわりクラブ運営のため積極的に取り組んでいる。また、利用者アンケートを実施することで保護者のニーズ把握を行い、それを職員間で話し合いながら改善を図っている。指定管理者として優良と評価する。

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	潟東ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人 新潟南福祉会	指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成32年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	新潟市西蒲区美里424番地9		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施 設 設 置 目 的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等	
基本方針	<p>【基本理念】 公の施設管理者としてのその責務を自覚し、管理運営に関する基本事項を実践するとともに、児童が心身共に健やかに育成されるよう適切な運営を行う。</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思いやりと人の痛みがわかる子ども」の育成と「安心して過ごせる安全な居場所づくり」に努める。 ・保護者への子育て支援を図る。 ・地域との密接な連携を実践する。
運営組織	<p>【職員配置】 〈正規支援員〉3名 〈補助支援員〉日々代替支援員・土曜日登録支援員・長期休暇の状況に応じて短時間登録支援員を配置</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の向上のため、安全管理、生活指導、人材育成等の計画的な研修の実施と、業務の執行体制についても検証、整備する。
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程の理解と特徴をふまえた、個々の実際に即した援助 ・学年の違う仲間作り、多くの大人との関わりや活動を通し自主性や社会性、創造性が育つよう生活の場の提供 <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラブだより」を毎月発行し、活動や生活の様子を発信し行事等の参加、呼びかけの効果的な方法の工夫 ・必要な場合は、保護者と個別面談を行い、悩みや不安などの相談に応じ、助言や支援をし、学校等の関係機関やコミュニティ協議会等、地域組織と連携を図り課題解決を図る。 <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者、学校、地域の情報交換だけでなく、児童の健全育成、保護者の子育て支援等にも連携し地域の育てる力を向上させる。 ・学校より毎月の下校時刻表、行事予定表を頂き、学校へも毎月「クラブだより」を配付し相互の情報交換を行う。 <p>【地域との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携や法人運営の高齢者との様々な機会を通じた交流で、人の心のぬくもりを大切にする。 ・コミュニティ協議会、自治会長等と連携し、ともに参加できる行事を企画する。 <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童も無い児童も、また、食物アレルギー等配慮を要する児童も「ともに学び、ともに遊び、ともに育つ」を推進し、安心して安全に過ごせるように運営する。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	B	目標を達成している
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	障がい児童の入会希望はなかった	B	受け入れの際は対象児童に合った支援を行うこととする
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応	B	臨時休校時に全て対応した
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	全保護者対象の保護者会を年1回以上開催	A	年3回広報誌により、地域へ情報を発信している
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年2回実施	A	目標を達成している
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の執行	B	縮減に努めた
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	開設、閉設時毎日実施	B	毎日実施し、職員間で情報共有を行った
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年2回以上実施	A	目標を達成した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	南福祉会での全員研修会を開催	B	適切な情報管理を行っている
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検を実施	B	定期点検を行い、常に安全にしようできるように保持している
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	適正に実施した
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	正規支援員3名配置した	A	適正に配置されている
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	南福祉会での全員研修会を開催	B	市からの研修を含め専門性を深める研修に参加している
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健診年1回実施	B	目標を達成している

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成28年度より潟東地区の3小学校が統合となり、潟東ひまわりクラブの在籍児童も急激に増加致しました。指定管理となり、限られた施設環境の中でいかに安全に安心して楽しく過ごせるか・・・日々改善を繰り返しました。愛楽結いずい児童保育で培った経験をもとに市のご指導をいただきながら児童の健全育成を図るため、保護者・学校・地域・虹の里のご利用者のお年寄りとの輪の中で、児童が安心して安全に楽しく過ごせるように。また働く保護者様にも安心してお子さまを預けられお仕事が継続されるよう、管理運営に取り組みました。

所管課による総合評価(所見)

平成28年度から公募により選定され、潟東ひまわりクラブの運営を開始。以前、民設放課後児童クラブ「愛楽結いずい」を運営していたノウハウを生かしながら放課後児童が安心・安全に過ごせるための改善を繰り返して行っていた。また、特別養護老人ホーム虹の里の高齢者と放課後児童クラブの子どもたちとのふれ合いの機会を設けるなど、地域で子育てを支援する環境を育むことで、保護者が安心して就労できる放課後児童クラブの運営を行っている。指定管理者として優良と評価する。